

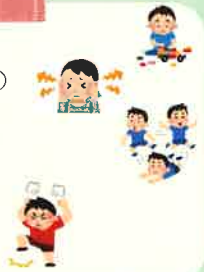
お子さんの発達について心配なことはありますか？

～日本で子育てをする保護者の方へ～

近年、日本で子育てをする外国人保護者の方が増えています。とくに、お子さんの発達について心配なことがある場合、どこへ行って、誰に相談すれば良いのかわからなくて、とまどうこともあるでしょう。日本の各地には、お子さんの発達を心配する保護者を応援する機関（場所）があります。外国人保護者の皆さんが、必要とする情報やサポートにつながり、安心して子育てができるように、このリーフレットを役立てていただければ幸いです。

たとえばこんなことはありませんか？

1. ことばの発達が遅れている。
2. 名前を呼ばれても振り向かない。
3. 目が合わない、合意にくい。
4. 音にとっても敏感（自分で耳をふさぐ）
5. 他の子どもに興味がない。
6. 落ち着きがなく動き回る。
7. 興味が偏っている（特定の色、商標、記号、文字、数字など）。
8. みんなと一緒に活動するときに、他の子と同じように行動できない。
9. トイレや着替えなどの生活習慣を身につけるのに時間がかかる。
10. かんしゃくがひどく、なかなかおさまらない。



お子さんにこのような問題があると、心配ですね・・・
これらは一時的な問題かもしれませんが、もしかすると、お子さんに発達の問題、ことに『発達障害』があるのかもしれない。



発達障害とは

「発達障害」は、脳の機能の発達が関係する、多くは生まれつきの障害です。発達障害には下の図のようないくつかのタイプがあります。同じ障害でも特徴のあらわれかたには個人差があります。また、いくつかの発達障害をもっている人もいます。

知的発達が遅れる
こともある

広汎性発達障害
(自閉症スペクトラム障害 ASD)

- 言葉の発達の遅れ（アスペルガー症候群では、ことばの遅れはみられません）
- コミュニケーションの難しさ
- 対人関係・社会性の問題
- パターン化した行動、興味のかたまり、こだわり
- 感覚が過敏、または鈍感、不器用など

注意欠陥多動性障害 AD/HD
(注意欠如・多動症、注意欠如・多動性障害)

- 集中できない
- じっとしていられない
- 衝動的に行動する

学習障害 LD
(限局性学習症、限局性学習障害)

- 全体的な知的発達は遅れていないが、「読む」、「書く」、「計算する」ことのどれかが大変苦手

※このほか、トゥレット症候群、吃音（症）、発達性協調運動障害なども発達障害に分類されています。

市区町村が行う健康診査を受けましょう

市区町村の役所では、乳幼児健康診査（健診）を行っています。お子さんの健康や発達の状態を確認するために大切な機会です。かならず受けましょう。

- 医師が診察します。健康診査の費用は、すべて0円です。
- それぞれの健康診査の時期は、自治体によってちがいます。役所に確認してください。
- 健康診査ごとに、受けることができる年齢が決まっています。

【乳児健康診査】お子さんが3～4か月になったとき。保健師に心配なことを相談することができます。栄養士が離乳食について教えてくれます。

【1歳6か月児健康診査】お子さんが1歳6か月になってから2歳になる前までの間。保健師に心配なことを相談することができます。

【3歳児健康診査】お子さんが3歳になってから4歳になる前までの間。尿の検査をします。視覚や聴覚の検査をします。保健師、栄養士、心理士などに心配なことを相談することができます。

【就学時健康診断】お子さんが小学校に入る前の年の9月ごろ、市区町村の教育委員会からお知らせが届きます。入学する予定の小学校に行って、就学時健康診断を受けましょう。視力や聴力の検査をします。簡単な知能検査をします。

【就学相談】教育委員会や教育センターは、障害のあるお子さん、小学校での生活に心配なことがあるお子さんの相談をおこなっています。就学相談は予約が必要です。予約については、教育委員会に聞いてください。

障害のあるお子さんのための教育

子どもがどこで教育を受けるかは、親や子どもの考えを最大限尊重して、教育委員会が決めます。

小学校には、「特別支援学級」や「通級指導教室」があります。「特別支援学校」は、障害が重いお子さんのための学校です。



相談をしましょう

子どもの特徴や発達のはかりはひとりひとり違います。心配なことがあれば早めに相談して、お子さんの特徴に合った対応をすることが大切です。

- 子育ての悩みや、お子さんの発達で心配なことなどは、まずは市区町村の保健師に相談しましょう。
- 保育所・幼稚園に通っている場合は、お子さんの様子について、普段から保育士とよく話し合しましょう。
- 市区町村によっては、発達相談員による個別相談や、巡回相談を行っています。
- 市区町村によっては、親子で一緒に通う子育て支援の教室を開いています。お子さんの発達に合った関わり方を学ぶことができます。

※相談出来る人・場所(窓口)は、市区町村によってちがいます。くわしいことは、保健師に聞いてください。



病院について

発達障害の診断は、専門の医師(小児科医、児童精神科医)が行います。

医師の診察を希望されるなら、次のような準備をしましょう。

- 専門の医師のいる病院を調べましょう。市区町村の保健師や発達障害者支援センターなどに相談しましょう(多くの病院は予約制です)。
- 初めての診察の時は、健康保険証と母子健康手帳を持っていきましょう。
- お子さんのことで心配なことや、家や保育所での様子について、前もってまとめ、書いておくといでしょう。



検査、個別療法について

病院では、必要があれば、専門の職員が検査や個別療法をします。

検査には知能・発達検査、聴力検査、脳波検査などがあります。



お子さんが、発達障害と診断されたら・・・

お子さんが発達障害と診断されて、ご心配なことでしょう。しかし、環境の工夫や適切なかわり方で、

お子さんの状態は着実に良くなっていきます。

対応の仕方については、担当の医師や専門の職員に相談しましょう。

発達障害者支援センターについて

発達障害者支援法について

日本には「発達障害者支援法」という法律があります。発達障害のある方(子どもから大人まで)やその家族を支えるための法律です。発達障害者支援法は、発達障害のある子どもが健やかに育ち、その家族が安心して子育てができる地域社会づくりを目指しています。

発達障害者支援センターについて

発達障害のある方やその家族が安心して生活できるように、地域にはいろいろな相談機関があります。

「発達障害者支援センター」は、各都道府県における支援の中心的な役割を果たしています。全ての都道府県・政令指定都市にあります。

全国の発達障害者支援センターに関する情報は下のウェブサイトに掲載しています。

発達障害情報・支援センター <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

【お住まいの地域の発達障害者支援センター】
センター名
連絡先

障害者手帳について

障害があることを示す手帳(障害者手帳)を持っていると、障害の種類や程度によって、いろいろな福祉サービス(手当金など)を利用できます。手帳が欲しい人は、役所で手続きをします。

手帳には、障害の種類によって「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」、「身体障害者手帳」の3種類があります。

- 手帳があると、福祉サービスを受ける場合の手続きが簡単になります。
- 手当金などの金額は、障害の種類や程度によってちがいます。
- 対象者、サービスの内容などは、市区町村によって一部ちがいます。

※くわしいことはお住まいの市区町村の福祉担当窓口におたすねください。

障害者手帳

参考情報

◆定住外国人施策ポータルサイト【内閣府】

都道府県の国際交流協会による電話相談窓口一覧を見ることができます。

<https://www8.cao.go.jp/teiju-portal/jpn/index.html>

◆電話相談による情報サービス AMDA国際医療情報センター

あなたの母国語で診療を受けることができる医療機関の紹介などを行っています。

東京オフィス事務局：03-6233-9266 <https://www.amdamedicalcenter.com/>

◆Google翻訳【開発：google,Inc】

テキスト翻訳、カメラ翻訳、手書き翻訳、音声翻訳ができる、無料のアプリです。

◆多言語音声翻訳アプリ VoiceTra (ボイストラ)

NICT：国立研究開発法人 情報通信研究機構

話しかけると外国語に翻訳してくれる無料の音声翻訳アプリです。

翻訳できる言語は31言語です。 <http://voicetra.nict.go.jp/>



◆CLARINETへようこそ 学校教育に関する情報サイト【文部科学省】

海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するウェブサイトです。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003.htm

◆発達障害教育推進センター

発達障害のある子どもの支援・指導方法、発達障害に関する研究や教材、支援機器を見ることができます。

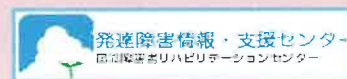
<http://icedd.new.nise.go.jp/>

【発行】

国立障害者リハビリテーションセンター

発達障害情報・支援センター

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>



発行日 2019年3月

您有孩子发育方面的担心吗？

~致各位在日育儿的家长~

近年来，在日育儿的外国人家长在不断增加。特别是担心孩子的成长发育的时候，不知道应该去哪里，去找谁咨询，会感到很困惑吧。在日本各地都设有相关的机构，为担心孩子发育的家长提供帮助。希望家长们通过这本手册，可以更快的接触到所需要的信息和帮助，我们将深感荣幸。

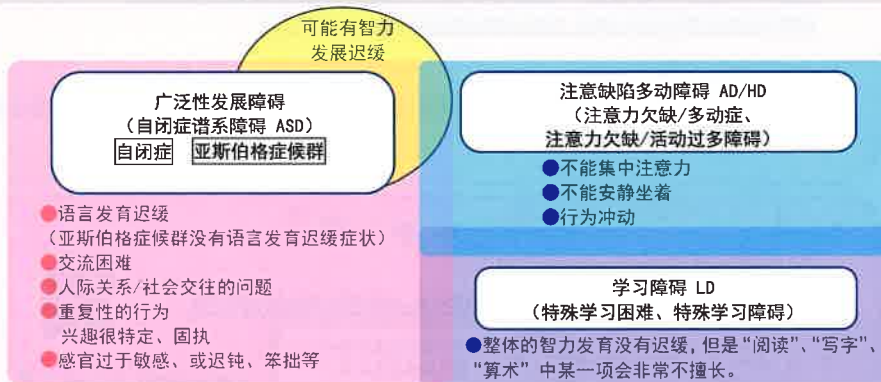
例如有没有类似这样的情况？

1. 语言发育迟缓。
2. 被叫到名字却没有回头看。
3. 没有眼神接触，或难以有眼神接触。
4. 对声音非常敏感（自己捂住耳朵）。
5. 对其他的小孩没有兴趣。
6. 很难安静下来，经常走动。
7. 感兴趣的东西很特定（特定的颜色、商标、记号、文字、数字等）。
8. 大家一起活动时，不能与其他孩子一同行动。
9. 上厕所、换衣服等生活习惯的养成需要花很长时间。
10. 常发脾气，生气后很难恢复平静。

孩子出现这样的情况的话，家长会很担心吧
这些可能只是暂时的问题，但也有可能是孩子有发育问题，或发展障碍问题。

什么是发展障碍？

“发展障碍”和脑部功能的发展有关，大多数是与生俱来的障碍。发展障碍如下图所示分为几种类型。即使是同一种障碍，它的特征的表现方式也会每个人有所不同。另外，也有人会同时患有几种发展障碍。



* 除此以外，妥瑞氏症、口吃症、发展性协调运动障碍也被归类为发展障碍。

市区町村安排的体检

市区町村的役所，安排了免费的婴幼儿健康检查（体检）。这是一个确认孩子的健康及发育状况的重要机会。请一定要接受检查。

- 医生进行健康检查。体检的费用，全部免费。
- 体检的时间，每个地方都有所不同，请向役所确认。
- 接受每种体检的年龄是规定好的。

【婴儿体检】 孩子满3~4个月的时候。可向保健师咨询您担心的事情。
营养师会教一些有关离乳食品的知识。

【1岁6个月幼儿体检】 孩子满1岁6个月至两岁前的期间。可向保健师咨询您担心的事情。

【3岁儿童体检】 孩子满3岁至4岁前的期间。检查尿液。检查视力和听力。可向保健师、营养师、心理师咨询您担心的事情。

【入学时体检】 小学入学前一年的9月，会收到市区町村的教育委员会发来的通知。去预定入学的学校，参加入学时的体检。检查视力和听力。简单的智力检查。

【入学咨询】 有残障的孩子、或对入学后的学校生活有担心的孩子的话，可以去教育委员会或教育中心，咨询入学问题。

入学咨询需要提前预约。有关预约的详情，请向教育委员会咨询。

□ 残障的孩子的教育

教育委员会在充分尊重父母及孩子的想法的基础上，决定孩子在哪里接受教育。

小学里设有“特别支援学级”或“通级指导教室”。

“特别支援学校”是为障碍程度严重的孩子设立的学校。

“特别支援学级”和“特别支援学校”是可以参观的。

请向教育委员会咨询。





Você tem alguma preocupação relacionada ao desenvolvimento de seus filhos?



~Para os pais e responsáveis que criam os filhos no Japão~



Recentemente tem aumentado o número de pais e responsáveis estrangeiros que criam os filhos no Japão. Principalmente nos casos em que têm preocupação relacionada ao desenvolvimento do seu filho, devem provavelmente ficar desorientados por não saber onde procurar ajuda e a quem pedir conselho. Em cada área do Japão existem instituições (lugares) que dão suporte a pais e responsáveis que têm preocupação relacionada ao desenvolvimento do seu filho. Sentimos muito honrados se vocês pais e responsáveis estrangeiros fizerem bom proveito deste livreto para poderem obter suportes e informações necessárias.



Não está acontecendo algo assim?

1. O desenvolvimento da linguagem está atrasado.
2. Não vira o rosto mesmo quando se chama pelo seu nome.
3. Não olha nos olhos, ou tem dificuldade de olhar nos olhos.
4. É muito sensível ao ruído (Tapa os próprios ouvidos com as mãos).
5. Não demonstra interesse por outras crianças.
6. Não consegue manter-se calmo, movendo-se agitado.
7. Seus interesses são demais seletivos (Interesse por determinadas cores, marcas, símbolos, letras, números, etc.)
8. Não consegue agir como as outras crianças quando realizam atividades coletivas.
9. Leva muito tempo para aprender os hábitos da vida cotidiana como: trocar de roupa, fazer o uso do banheiro, etc.
10. Irrita-se com bastante frequência e não se acalma facilmente.



Seria preocupante se o seu filho (ou a sua filha) apresentasse esses comportamentos, não seria? Esses problemas podem ser temporários, mas pode ser que seu filho tenha algum problema de desenvolvimento, especialmente algum distúrbio de desenvolvimento.



O que são distúrbios de desenvolvimento?

"Distúrbios de desenvolvimento" são na maioria distúrbios de nascença, relacionados com o desenvolvimento do funcionamento do cérebro. Existem alguns tipos, como se pode ver no diagrama abaixo. Mesmo que tenham o mesmo tipo de distúrbio, as características apresentadas podem ser diferentes em cada indivíduo. Há certas pessoas que têm mais de um tipo de distúrbio de desenvolvimento.

Às vezes pode apresentar atraso no desenvolvimento intelectual.

Transtornos invasivos do desenvolvimento

Transtorno do espectro do autismo (TEA)

Autismo

Síndrome de Asperger

- Atraso no desenvolvimento de linguagem (Na síndrome de Asperger não se observa atraso de desenvolvimento de linguagem)
- Dificuldade de comunicação
- Problema de relacionamentos interpessoais e sociabilidade
- Comportamentos padronizados, interesse tendencioso, obstinação
- Hiperestesia ou hipersensibilidade, obtusidade, falta de habilidade, etc.

Transtorno do Déficit de Atenção com Hiperatividade (TDAH)

Falta de atenção com hiperatividade
Falta de atenção com distúrbio de hiperatividade

- Não consegue concentrar-se.
- Não consegue manter-se parado.
- Comporta-se impetuosamente.

Dificuldade de Aprendizagem (DA)

Sintoma específico de aprendizagem
Distúrbio específico de aprendizagem

- De uma forma geral não há atraso no desenvolvimento intelectual, mas é bastante inapto em um dos ramos de "ler", "escrever" ou "calcular".

* Além disso, a síndrome de Tourette, gagueira, transtorno do desenvolvimento da coordenação, etc. também são classificados como distúrbios de desenvolvimento.

Vamos ao exame de saúde oferecido pela Prefeitura

Os exames de saúde (kenshin) dos bebês e de crianças pequenas são realizados, gratuitamente, na prefeitura de cada municipalidade. São oportunidades muito importantes para se verificar o estado de saúde e de desenvolvimento dos seus filhos. Vamos fazer esses exames, sem falta.

- O médico examina. O custo para ser submetido a cada exame de saúde é de 0 (zero) iene.
- As épocas em que esses exames são realizados diferem em cada comunidade municipal. Portanto, consulte a Prefeitura de sua municipalidade.
- A criança só pode ser submetida aos exames de saúde durante a faixa etária correspondente a cada exame.

[Exame de saúde dos bebês]

Quando a criança estiver com 3 a 4 meses. Você pode pedir conselhos ao enfermeiro de saúde pública a respeito de suas preocupações ou dúvidas. A nutricionista ensina como se prepara a comida para o seu bebê (papinha).

[Exame de saúde das crianças com 1 ano e 6 meses de idade]

Quando a criança tiver entre 1 ano e seis meses a 2 anos de idade. Você pode pedir conselhos ao enfermeiro de saúde pública a respeito de suas preocupações ou dúvidas.

[Exame de saúde das crianças com 3 anos de idade]

Quando a criança tiver entre 3 anos a 4 anos de idade. É feito o exame de urina. É feito o exame de vista e o exame de audição. Você pode pedir conselhos a respeito de suas preocupações, ao enfermeiro de saúde pública, nutricionista, psicólogo, etc.

[Exame médico na hora de matricular-se na escola primária]

Mais ou menos em setembro do ano anterior ao ano em que a criança vai ser matriculada na escola primária, será enviado um aviso do Conselho de Educação (Kyouiku-iinkai) da sua municipalidade. Vamos à escola primária em que pretende matricular-se e receber o exame médico. É feito o exame de vista e o exame de audição. É feito um teste de inteligência simples.

[Consulta ao matricular-se na escola primária]

O Conselho de Educação (Kyouiku-iinkai) e o Centro de Educação oferecem consultas às crianças que possuem alguma deficiência e às crianças com duvidosas capacidades de adaptação à vida escolar. Esta consulta necessita de um agendamento prévio. Busque informações sobre o agendamento no Conselho de Educação.

• Educação para as crianças que têm deficiência

É o Conselho de Educação que decide onde a criança deve receber a educação, respeitando ao máximo as opiniões da criança e dos pais. Nas escolas primárias existem dois tipos de classes especiais: "classe para alunos que necessitam de apoios especiais" (tokubetsu-shien-gakkyuu) e "classe para alunos que estudam em classes normais, mas que recebem algumas aulas especiais separadamente" (tsuukyuu-shidou-kyoushitsu). "Escola que oferece apoios especiais" (tokubetsu-shien-gakkou) é a escola para crianças com deficiências graves.

